

## 2024年度 学科別授業科目一覧表（実務経験表記あり）

課程：工業専門課程

学科：セキュリティ・ネットワーク科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
1	C言語演習 I	1	30	2	必修	実習	無
2	C言語演習 II	1	30	2	必修	実習	無
3	C言語文法 I	1	30	2	必修	講義	無
4	C言語文法 II	1	30	2	必修	講義	無
5	CCNA I	1	30	2	必修	講義	無
6	CCNA II	1	30	2	必修	実習	無
7	セキュリティ I	1	30	2	必修	講義	無
8	セキュリティ II	1	30	2	必修	講義	有
9	アルゴリズム I	1	30	2	必修	講義	無
10	アルゴリズム II	1	30	2	必修	講義	無
11	ソフトウェア	1	30	2	必修	講義	有
12	ハードウェア I	1	30	2	必修	講義	無
13	ハードウェア II	1	30	2	必修	講義	無
14	データベース	1	30	2	必修	講義	有
15	ネットワーク	1	30	2	必修	講義	無
16	ホームページ	1	60	4	必修	実習	有
17	PC/OS基礎	1	30	2	選択	講義	無
18	表計算基礎 I	1	30	2	必修	実習	無
19	表計算基礎 II	1	60	4	必修	実習	無
20	文書編集基礎	1	30	2	必修	実習	有
21	ITパスポート対策 I	1	30	2	必修	講義	無
22	ITパスポート対策 II	1	30	2	必修	講義	無
23	基本情報対策 I	1	60	4	必修	講義	無
24	基本情報科目A対策	1	30	2	必修	講義	有
25	基本情報科目B対策	1	30	2	必修	講義	有
26	基礎学力 I	1	30	2	必修	講義	無
27	基礎学力 II	1	30	2	選択	講義	無
28	ビジネスマナー I	1	30	2	必修	講義	有
29	ビジネス検定対策	1	30	2	必修	講義	有
30	情報関連法規 I	1	30	2	必修	講義	有
31	経営	1	30	2	必修	講義	有
32	体育実習 I	1	60	4	必修	実習	無

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	C言語演習 I	砂賀 勝己	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

C言語文法で学んだ内容を、演習によってさらに理解度を深める。また、実際にプログラムを作成・実行することでプログラム開発の手順についても学習する。

## 【講義概要】

各回ともそのテーマに関する、基礎/確認となる問題を1～2問、発展的な問題を2～3問。応用問題を1～2問程度出題する。

回	授業計画及び学習の内容
1	初回は演習は無し
2	コマンドプロンプトによるコンパイル～実行までの手順、エラーの修正方法
3	scanf関数、代入式、四則剰余演算に関する演習
4	基本的なfor命令、forの入れ子、インクリメント/デクリメントに関する演習
5	基本的なif命令、ifの入れ子、elseifに関する演習
6	初期値、条件、増分などのないfor・breakに関する演習
7	総合演習1
8	一次元配列1(int)に関する演習
9	一次元配列2(char)、(char配列による)文字列の取り扱いに関する演習
10	ソートの手法、乱数に関する演習
11	二次元配列1(int)に関する演習
12	二次元配列2(char)に関する演習
13	関数1(概要、戻り値のない関数)に関する演習
14	総合演習2
15	総合演習3

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教員歴30年強。プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。  
学内情シスのような業務も行っている。

## 【教科書・参考文献】

プリントを配布

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	C言語演習Ⅱ	砂賀 勝己	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

C言語文法で学んだ内容を、演習によってさらに理解度を深める。また、実際にプログラムを作成・実行することでプログラム開発の手順についても学習する。

## 【講義概要】

各回ともそのテーマに関する、基礎/確認となる問題を1～2問、発展的な問題を2～3問。応用問題を1～2問程度出題する。

回	授業計画及び学習の内容
1	戻り値のある関数
2	標準関数－文字列操作と関数
3	whileによる繰り返し
4	ファイルの取り扱い
5	ポインタ1 (概要・整数型/char型のポインタ)
6	ポインタ2 (配列へのアクセス)
7	総合演習1
8	ポインタ3 (関数の引数としての受け渡しと戻り値)
9	プリプロセッサ、前置インクリメント・デクリメント
10	構造体1 (概要、変数、代入)
11	構造体2 (構造体型のポインタ、リスト構造)
12	再帰
13	動的メモリ確保
14	C++の紹介 基礎、C言語との違いなど
15	総合演習2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教員歴30年強。プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。  
学内情シスのような業務も行っている。

## 【教科書・参考文献】

プリントを配布

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	C言語文法 I	砂賀 勝己	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

C言語の文法について学習する。  
コンパイラ言語の学習も初めてなので、コンパイラ言語でのプログラム開発に必要な知識についてもあわせて学習する。

## 【講義概要】

文法と合わせ演習科目も実施し、より理解度を深めるようにする

回	授業計画及び学習の内容
1	C言語プログラムの概要、コンパイラ/スクリプトなど、printf関数、変数1
2	printf関数、変数1
3	scanf関数、代入式、四則剰余演算
4	基本的なfor命令、forの入れ子、インクリメント/デクリメント
5	基本的なif命令、ifの入れ子、else if
6	初期値・条件・増分などのないfor、break、中間試験対策
7	中間試験
8	中間試験解説、一次元配列1(int)
9	一次元配列2(char)、(char配列による)文字列の取り扱い
10	ソートの手法、乱数
11	二次元配列1(int)
12	二次元配列2(char)、じゃんけんプログラムのアルゴリズム
13	関数1(概要、戻り値のない関数)
14	関数2(戻り値のある関数)、変数(float)、include、期末試験対策
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。  
学内情シスのような業務も行っている。

## 【教科書・参考文献】

プリントを配布

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	C言語文法Ⅱ	砂賀 勝己	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

C言語の文法について学習する。  
また、各種アルゴリズム・データ構造についても合わせて学習する。

## 【講義概要】

文法の知識を活かし、実際に演習を行うことで理解を深める

回	授業計画及び学習の内容
1	戻り値のある関数
2	標準関数－文字列操作と関数
3	whileによる繰り返し
4	ファイルの取り扱い
5	ポインタ1 (概要・整数型/char型のポインタ)
6	ポインタ2 (配列へのアクセス)
7	中間試験
8	ポインタ3 (関数の引数としての受け渡しと戻り値)
9	プリプロセッサ、前置インクリメント・デクリメント
10	構造体1 (概要、変数、代入)
11	構造体2 (構造体型のポインタ、リスト構造)
12	再帰
13	動的メモリ確保
14	C++の紹介 基礎、C言語との違いなど
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。  
学内情シスのような業務も行っている。

## 【教科書・参考文献】

プリントを配布

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	CCNA I	平塚悠生	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける

## 【講義概要】

OSI参照モデルに従い、各層で動作するネットワークデバイスの役割を学ぶ。シミュレーションソフトを用いてネットワークデバイスの基本的な操作を身につける。

回	授業計画及び学習の内容
1	コンピュータネットワーク、OSI参照モデルとは
2	データ分割とカプセル化
3	シミュレーションソフトの基本的な使い方①
4	シミュレーションソフトの基本的な使い方②
5	ルータの基本的な役割
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）
7	中間試験
8	ルーティングのしくみ
9	IPとは
10	IPアドレスとは
11	IPアドレスの計算
12	エンドデバイスの設定
13	ネットワークトポロジの作成
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。

## 【教科書・参考文献】

（参考文献）翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	CCNA II	平塚悠生	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける

## 【講義概要】

OSI参照モデルに従い、各層で動作するネットワークデバイスの役割を学ぶ。シミュレーションソフトを用いてネットワークデバイスの基本的な操作を身につける。

回	授業計画及び学習の内容
1	コンピュータネットワーク、OSI参照モデルとは
2	データ分割とカプセル化
3	シミュレーションソフトの基本的な使い方①
4	シミュレーションソフトの基本的な使い方②
5	ルータの基本的な役割
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）
7	中間試験
8	ルーティングのしくみ
9	IPとは
10	IPアドレスとは
11	IPアドレスの計算
12	エンドデバイスの設定
13	ネットワークトポロジの作成
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。

## 【教科書・参考文献】

（参考文献）翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	セキュリティ I	鹿子木範昭	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティの基礎知識の習得とその活用

## 【講義概要】

セキュリティインシデントの予防と対応のための基礎知識・技術をテキストを中心に学ぶ。 資格試験対策として小テストを実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報通信白書による情報セキュリティインシデントの事例研究
2	情報セキュリティの概念
3	情報資産に対する脅威
4	情報システムに対するセキュリティ上の脅威
5	情報システムの脆弱性
6	前半のまとめ
7	中間試験
8	暗号化システムの基礎
9	認証技術
10	デジタル署名
11	ネットワークセキュリティ技術 その1
12	ネットワークセキュリティ技術 その2
13	情報セキュリティ関連法規
14	後半のまとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%	20%		10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大学学部、大学院で20年以上教育に携わる

## 【教科書・参考文献】



# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	セキュリティⅡ	久良知真紀子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティマネジメント試験の午前・午後問題分野について、要点確認と問題演習を行う。

## 【講義概要】

教科書の単元に沿って解説する。毎回、授業の最後に、その日の授業の範囲から出題した小テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報セキュリティ全般：単元01 情報セキュリティ
2	情報セキュリティ全般：単元02 マルウェア、単元03 パスワードの不正入手/不正利用、
3	情報セキュリティ全般：単元04 Webサイト利用者への攻撃、単元05 サービスの妨害/悪用、
4	情報セキュリティ全般：単元06 人的脅威、単元07 物理的脅威/その他の脅威、
5	情報セキュリティ全般：単元08 暗号化技術、単元09 認証技術
6	情報セキュリティ全般：単元10 デジタル署名
7	中間試験
8	情報セキュリティ対策：単元11 マルウェア対策、単元12 不正アクセス対策
9	情報セキュリティ対策：単元13ネットワークセキュリティ、単元14情報漏えい対策
10	情報セキュリティ対策：単元15その他のセキュリティ対策
11	情報セキュリティ管理：単元16 情報セキュリティマネジメント、単元17 ISMS
12	情報セキュリティ管理：単元18 リスクマネジメント、単元19 情報セキュリティインシデント管理
13	情報セキュリティ関連法規：単元20 情報セキュリティ関連法規
14	総合問題
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

① 銀行でシステム開発 (2年) ②ソフトウェア開発会社でシステム開発 (2年) ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング (20年)

## 【教科書・参考文献】

情報セキュマネ試験 要点&問題集 (インフォテックサーブ)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	アルゴリズム I	安藤 真理	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

アルゴリズムの基礎を習得し、フローチャートや擬似言語の作成、およびそれらからのトレース作業の習得ができるようにする。

## 【講義概要】

アルゴリズムの基礎・基本を学習し、フローチャートや擬似言語を作成しつつ、それらからのトレースの実践を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズムとは フローチャートの基礎
2	変数について
3	比較分岐①
4	比較分岐②
5	繰り返し処理①
6	繰り返し処理②
7	中間試験対策
8	1次元配列
9	2次元配列
10	配列の探索①
11	配列の探索②
12	データの挿入・削除
13	ソート①
14	ソート②
15	期末試験対策

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	アルゴリズムⅡ	安藤 真理	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

アルゴリズムの基礎を習得し、フローチャートや擬似言語の作成、およびそれらからのトレース作業の習得ができるようにする。

## 【講義概要】

アルゴリズムの基礎・基本を学習し、フローチャートや擬似言語を作成しつつ、それらからのトレースの実践を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズムとは フローチャートの基礎
2	変数について
3	比較分岐①
4	比較分岐②
5	繰り返し処理①
6	繰り返し処理②
7	中間試験対策
8	1次元配列
9	2次元配列
10	配列の探索①
11	配列の探索②
12	データの挿入・削除
13	ソート①
14	ソート②
15	期末試験対策

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ソフトウェア	高嶋 知由	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ソフトウェアの基礎について学習する。

## 【講義概要】

テキストでの講義の他、毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報処理システムの処理形態
2	様々なシステム
3	高信頼化システムの構成
4	処理能力の評価、性能測定の技法
5	信頼性の評価☒
6	ヒューマンインタフェース☒
7	中間試験☒
8	マルチメディア
9	基本ソフトウェア ジョブ管理
10	基本ソフトウェア タスク管理
11	基本ソフトウェア 記憶管理
12	プログラム言語と言語プロセッサ
13	ファイル、ディレクトリ、バックアップ
14	まとめ問題演習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

会計事務所にて税務会計および中小企業のIT化コンサルタントを担当  
大学などで情報処理技術者試験などの資格講座講師

## 【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問題

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2024		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	ハードウェア I		井元 和彦	無	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータがどのような部品で構成され、それらがどのように動き、どのように連携して、命令を実行していくか理解することを目指す。

## 【講義概要】

コンピュータの動作の理解に必要な基礎理論として、2進数とその他の基数表記及び基数変換、また論理演算を扱う。また、それらの技術を利用して、コンピュータがどのように情報を処理しているか紹介する。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ2進数が必要か／基数とは／基数変換その1
2	基数変換その2
3	情報量／補助単位／ビットとバイト／固定小数点数
4	負数の表現／シフト演算
5	浮動小数点数、誤差
6	記憶素子（ROMとRAM）／中央処理装置
7	中間試験
8	アドレス指定方式、BCD
9	論理演算（AND、OR、NOT、XOR、NAND、NOR他）
10	論理回路、加算器、論理法則、加法標準形
11	フリップフロップ、ビット演算
12	高速化技術（メモリの高速化、プロセッサの高速化）
13	補助記憶装置（HDD、SSD）
14	入出力装置
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当

## 【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2024		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	ハードウェアⅡ		井元 和彦	無	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータがどのような部品で構成され、それらがどのように動き、どのように連携して、命令を実行していくか理解することを目指す。

## 【講義概要】

コンピュータの動作の理解に必要な基礎理論として、2進数とその他の基数表記及び基数変換、また論理演算を扱う。また、それらの技術を利用して、コンピュータがどのように情報を処理しているか紹介する。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ2進数が必要か／基数とは／基数変換その1
2	基数変換その2
3	情報量／補助単位／ビットとバイト／固定小数点数
4	負数の表現／シフト演算
5	浮動小数点数、誤差
6	記憶素子（ROMとRAM）／中央処理装置
7	中間試験
8	アドレス指定方式、BCD
9	論理演算（AND、OR、NOT、XOR、NAND、NOR他）
10	論理回路、加算器、論理法則、加法標準形
11	フリップフロップ、ビット演算
12	高速化技術（メモリの高速化、プロセッサの高速化）
13	補助記憶装置（HDD、SSD）
14	入出力装置
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当

## 【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	データベース	高嶋知由	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

データベースとは、DBMSについて  
関係データベースの設計、DBの操作、SQLの習得

## 【講義概要】

テキストによる講義の他、毎回小テストを行い理解度を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	データベースとは 関係データベースの特徴
2	DBMS 排他制御、障害回復処理
3	表の定義 正規化
4	SQL CREATE文
5	SQL SELECT文 * DISTINCT
6	SQL SELECT文 WHERE 条件指定
7	中間試験
8	SQL SELECT文 集合関数 GROUP BY ORDER BY
9	SQL SELECT文 表の結合
10	SQL SELECT文 副問合せ
11	SQL SELECT文 相関問合せ
12	SQL その他のSQL文 JOIN GRANT
13	SQL 総合問題演習
14	DB 総合問題演習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

会計事務所にて税務会計および中小企業のIT化コンサルタントを担当  
大学などで情報処理技術者試験などの資格講座講師

## 【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ネットワーク	石川 章	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ・通信回線の基礎技術からイーサネット技術までを習得する。
- ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識を習得する。

## 【講義概要】

- ・教科書をベースに各項目について説明する。
- ・演習問題による知識の確認を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	ネットワークの歴史と基礎知識
2	ネットワークの種類1：ネットワークの分類、電話網
3	ネットワークの種類2：パケット交換網、携帯電話網
4	ブロードバンド：ADSL、FTTH、CATV
5	データ伝送の実際：文字データ形式、伝送方式、誤り制御
6	前半の補足と復習
7	中間試験
8	通信回線の計算：伝送時間及び回線速度の算出
9	アナログーデジタル変換：変換方法と特性、データ量の算出
10	マルチメディア：静止画、動画、音声の各ファイル形式、圧縮技術
11	イーサネット1：イーサネットによるデータ伝送方法
12	イーサネット2：イーサネット用通信機器
13	通信プロトコルとOSI参照モデル
14	後半の補足と復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		30%			100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

ITワールド、演習問題集



# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	実習	ホームページ	荒川宇之輔	有	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブサイトやウェブサービス構築のための基本技術としてのHTMLおよびCSSを学び、レスポンシブデザインによるマルチデバイスに対応させたコーディングを行えることを目標とする。

## 【講義概要】

ウェブページの構造を理解し、環境構築、デザインカンパからHTMLおよびCSSを用いてPC用およびスマホ用のコーディング（レスポンシブ）を行う。夏季課題中に課題レポートを行う。教科書は主に予・復習、課題用に用いるため、毎回の持参は必須としない。必要時のみ指示する。

回	授業計画及び学習の内容
1	ウェブサイト制作のための環境構築。エディタの使い方、HTMLの基礎。
2	見出し、段落、リスト
3	ボックスモデル、ナビゲーションの仕組み
4	相対パス、絶対パス、リンクの作成
5	画像の種類、全面に配置する画像
6	テーブルを使ったレイアウト
7	フレックスボックス、ポジション
8	CSSアニメーションについて
9	PC/スマホ用のレスポンシブ対応のデザインをコーディングしてみる① レスポンシブ対応など
10	PC/スマホ用のレスポンシブ対応のデザインをコーディングしてみる② ウェブフォントの活用など
11	PC/スマホ用のレスポンシブ対応のデザインをコーディングしてみる③ 外部サービスの活用など
12	PC用のペラ物のカンパを元にコーディングしてみる①
13	PC用のペラ物のカンパを元にコーディングしてみる②
14	課題レポート
15	課題ウェブサイト制作

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

荒川：20年以上、ウェブデザイナー、プログラマーとして幅広いウェブサイトの企画、開発、運用に従事。他、様々なデジタルコンテンツの制作に従事。また、複数の専門学校や企業においてウェブ全般の講師業に従事。

## 【教科書・参考文献】

1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座、Mana（著）、SBクリエイティブ

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2024		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 選択	講義	PC/OS基礎		砂賀 勝己	無	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ICTを体系的に学ぶことができる「CompTIA IT Fundamentals」をベースとし、この認定資格の取得、あるいは同等のICT基礎知識と主に、PCやその周辺機器に関するスキルを身につける。

## 【講義概要】

これからICTエンジニアを目指す方々に必要なコンピュータの基礎知識を講義と実習形式で体系的にお伝えすると共に、実経験に基づいた実践力や考え方、ノウハウ、最新の技術情報等も交えて学習していく。復習としてラボによる実習と、E-Learningによる知識の定着を図る。また、実際にその技術が活用されるイメージいただくための補足も加える。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション・ICTの概要を学習
2	オペレーティングシステムの概要の学習
3	ソフトウェアの学習（ソフトウェアプログラムの基礎、アプリケーションソフトウェア
4	ソフトウェアの学習（ソフトウェアプログラムの基礎、アプリケーションソフトウェア
5	プログラミングとアプリ開発の学習
6	データベースの学習（データベースの概要、RDBMSを中心とした解説
7	中間試験
8	ハードウェアの学習、コンピュータ内部（CPU、メモリー、ストレージ、ネットワーク）
9	ハードウェアの学習、コンピュータ内部（CPU、メモリー、ストレージ、ネットワーク）
10	ハードウェアの学習、デバイスインタフェース、ファイルシステム
11	ネットワークの学習、トポロジー、IPアドレスの世界、ネットワーク接続
12	ネットワークの学習、共有ストレージ、モバイルデバイス
13	セキュリティの概要、ベストプラクティスの実践
14	セキュリティのアクセス制御について他、人間の行動に関するセキュリティの懸念
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教員歴30年強。プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。学内情シスのような業務も行っている。

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	実習	表計算基礎 I	藤田恵子	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

EXCEL基本機能、数値ひらがなかな漢字記号文字入力、データ入力、表作成、印刷方法、グラフ作成、集計計算機能、データベース機能、印刷機能、ページ設定、シート管理ファイル管理などビジネス日常業務に必要な技能を習得し身に着ける

## 【講義概要】

毎回配布プリントの見本や指示に従い、毎回課題を作成し、A4紙に印刷して提出し評価を受ける。課題は、完成しA評価をもらうまで提出を続けること。テキストがない代わりに、PDF形式の見本や説明を毎回ファイルで配布し各自で確認できる。

回	授業計画及び学習の内容
1	セルへの基本文字入力、データ数値入力、通貨記号、%の表示のしかた、セルの書式、保存方法、ヘッダーフッター使い方
2	印刷範囲とページ設定、印刷方法、表作成の基本、データ入力、四則計算、SUMの計算、平均AVERAGE、MAX、MIN
3	表作成、セルの書式設定、表示形式、罫線の編集、セル結合、斜めの罫線、合計SUMの活用、利益率%
4	グラフ作成の基本（円グラフ、縦棒グラフ）横棒グラフ（軸の反転）タイトルや軸の変更
5	数式のコピー、相対参照と絶対参照F4（\$）、SMALL、range、COUNT、COUNTA、COUNTIF
6	表作成とグラフ作成と、日付入力、時刻入力、日数や時間数の計算、表示形式の変更ユーザ定義使う
7	条件判定IFの基本、IFの練習、条件式の作り方、IFの応用
8	条件判定IFの応用、AND・OR・NORの使い方、IFのネストの活用
9	順位RANK、並べ替え、フィルタ機能、RANK.avg、RANK.EQ MATCHとINDEXの活用
10	住所録作成、年齢計算、経過日数、稼働時間の計算方法 賃金計算
11	表検索VLOOKUP、HLOOKUPを使った課題（検定試験2級レベル）DSUMの活用、SUMIFの活用
12	複数シートの集計、シート名変更、シートの移動と挿入、ファイル同士のデータリンク集計
13	図形、画像、ハイパーリンク、セルの使用禁止、フィルタ抽出絞り込み、複雑な並べ替え、
14	まとめと復習1
15	まとめと復習2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

実教出版Excel30時間、無限大EXCEL、MOS試験対策本、日商文書作成検定2級試験問題、

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	実習	表計算基礎Ⅱ	藤田 恵子	無	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Excelの基本的な操作を理解し、ビジネスに必要な集計機能や分析に関する機能やグラフ作成、仕事で使える便利な機能の習得や印刷やデータの保護管理までを身に着けることを目標とする

## 【講義概要】

各回に配布したプリントの課題をしながら機能や集計方法などを学習し、いままでの復習を繰り返し練習しながら、毎回新しい機能や関数を学び練習します。

回	授業計画及び学習の内容
1	Excelの基本機能、データ入力、文字入力、日付や時刻などの表示形式、ユーザ定義の活用（曜日や単位表示
2	行の高さ、列幅、行列非表示、表作成の罫線の編集、セル結合や左インデント下げ、縦書き、ルビ表示
3	四則計算、合計・平均・最大・最小・セルの数など基本的な集計練習、データ並べ替え、通貨表示と%表示
4	端数処理と%表示形式、小数点以下の表示、単位や通貨記号表示、コメント使いかた、リンク方法・削除
5	IF判定の基本、IFのネスト・入れ子、and・or・notを活用したIF判定の活用、RANK順位つけ降順・昇順
6	データ規則よりリスト作成、データ入力時の制限方法、エラー表示、請求書作成してみる、複数ページ数管理
7	印刷範囲の設定、ヘッダーフッター（ページ番号、シート名、日付時刻表示など）、印刷拡大縮小、余白設定
8	表検索VLOOKUPを活用して売上集計まとめる。データベース機能使う。HLOOKUPも活用
9	複数シートの串刺し演算による集計方法、シート間のリンクの設定、シートの保護、ブックの保護
10	ピボットテーブル機能によるクロス集計、自動集計方法の活用、グループ化の設定
11	データベース機能DSUM、DAVERAGE、DCOUNT、COUNTIF、SUMIFなどの活用による集計方法
12	複雑なグラフ作成、縦棒と折れ線の複合グラフ、円グラフ、積み上げ横棒などの編集について
13	総合まとめ1
14	総合まとめ2
15	総合まとめ3

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		20%	10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

無限大EXCEL(基礎編・応用編)/実教出版60時間遠州/日情検定の表計算問題集2級1級初段から)

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	実習	文書編集基礎	佐藤 薫	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

Word2019を使用して文書編集の機能を理解し、定型のビジネス文書や表や図入りの案内書などを作成したり、長文の文書の編集ができるようになることが目標。入力速度向上も目指そう(最低400字以上/10分)。

## 【講義概要】

機能の操作説明をよく聞き、操作方法を理解してから実習課題を2問ほど作成する。最後に印刷プレビューなどで全体の仕上がりを確認すること。不明点は積極的に聞いて文書作成の基礎を身に付けよう。授業中に提出できなかった必須課題は仕上げて、必ず提出すること。タイピング計測、機能や用語に関する小テストもあり。

回	授業計画及び学習の内容
1	新規文書の作成、入力の基礎と練習、ファイルを開く、保存
2	Lesson1 (文書のページ設定、文字の強調、印刷設定)
3	Lesson2 (一般的なビジネス文書のルール、文字の配置、インデント)
4	Lesson2 (均等割り付け、タブ、ルビなどの書式設定)
5	Lesson3 (レポートや報告書の作成に役立つ機能、移動やコピー、段落罫線、ページの背景の設定)
6	Lesson3 (箇条書きや段落番号、行や段落の間隔)
7	Lesson4 (表の挿入、表の形式や位置を整える)
8	Lesson5 (画像の挿入と編集、図形の挿入と編集)
9	総合練習問題 (ビジネス文書、表や画像入りの文書)
10	Lesson6 (情報を伝えるオブジェクト、SmartArt、ワードアート、テキストボックス)
11	Lesson7 (Excelデータの利用)、Lesson12 (差し込み印刷)
12	Lesson8 (長文に役立つレイアウト機能、スタイルを使った書式統一、段組み、ページ罫線)
13	Lesson9、10 (長文を効率よく編集する機能、検索と置換、ヘッダー/フッターの設定、目次、アウトライン)
14	まとめ
15	まとめ

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

専門学校でOffice系の科目、派遣会社で企業向けのOffice研修を担当。MOSやOffice関連の書籍の執筆も担当。

## 【教科書・参考文献】

情報利活用 文書作成 Word2019対応 (日経BP)

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ITパスポート対策 I	平塚 悠生	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ITパスポート試験合格を目標とする

## 【講義概要】

ITパスポート試験の対策を行う。用語と問題を理解し、合格を目指す。

回	授業計画及び学習の内容
1	疑似言語 記述の規則
2	疑似言語 プログラムの読み方
3	マネジメント 開発技術。 過去問練習
4	マネジメント プロジェクトマネジメント。 過去問練習
5	マネジメント サービスマネジメント。 過去問練習
6	ITパスポート 令和3年過去問題の解説
7	中間試験対策
8	テクノロジー 基礎理論。 過去問練習
9	テクノロジー 技術要素。 過去問練習
10	テクノロジー コンピュータシステム。 過去問練習
11	ストラテジ 経営戦略。 過去問練習
12	ストラテジ 企業と法務。 過去問練習
13	ストラテジ システム戦略。 過去問練習
14	ITパスポート 令和5年過去問題の解説
15	期末試験対策

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	20%		20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

令和5年度秋期 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	ITパスポート対策Ⅱ	成田与志子	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ITパスポート試験合格を目標とする

## 【講義概要】

ITパスポート試験の対策を行う。用語と問題を理解し、合格を目指す。

回	授業計画及び学習の内容
1	疑似言語 記述の規則
2	疑似言語 プログラムの読み方
3	マネジメント 開発技術。 過去問練習
4	マネジメント プロジェクトマネジメント。 過去問練習
5	マネジメント サービスマネジメント。 過去問練習
6	ITパスポート 令和6年過去問題の解説
7	中間試験対策
8	テクノロジー 基礎理論。 過去問練習
9	テクノロジー 技術要素。 過去問練習
10	テクノロジー コンピュータシステム。 過去問練習
11	ストラテジ 経営戦略。 過去問練習
12	ストラテジ 企業と法務。 過去問練習
13	ストラテジ システム戦略。 過去問練習
14	ITパスポート 令和5年過去問題の解説
15	期末試験対策

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	20%		20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

実務経験なし

## 【教科書・参考文献】

令和6年度春期 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	基本情報対策 I	平塚 悠生	無	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験（FE）の取得を目指すため、過去問などを学習する。

## 【講義概要】

基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	基本情報技術者試験とは 過去問対策の説明
2	テクノロジー① 過去問練習
3	テクノロジー② 過去問練習
4	テクノロジー③ 過去問練習
5	マネジメント 過去問練習
6	ストラテジ 過去問練習
7	中間試験対策
8	アルゴリズム① 過去問練習
9	アルゴリズム② 過去問練習
10	アルゴリズム③ 過去問練習
11	アルゴリズム④ 過去問練習
12	セキュリティ① 過去問練習
13	セキュリティ② 過去問練習
14	試験を受験する際の注意について
15	期末試験対策

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。

## 【教科書・参考文献】



# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	基本情報科目A対策	松田 将典	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

前期で学習した知識を活用・復習し、基本情報技術者試験のA科目問題対策を行う。

## 【講義概要】

過去問題を使用し解き方を解説する。よく出る問題や傾向についても解説する。

## 回 授業計画及び学習の内容

1	試験概要解説、過去問実施（公開問題）
2	過去問解説（公開問題）、過去問実施（サンプル問題）
3	過去問解説（サンプル問題）、過去問実施（サンプル問題）
4	過去問解説（サンプル問題）、過去問実施（免除試験問題）
5	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
6	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）、テスト対策
7	中間テスト
8	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
9	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
10	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
11	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
12	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
13	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）
14	過去問解説（免除試験問題）、過去問実施（免除試験問題）、テスト対策
15	期末テスト

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

金融系Sierでシステム開発を経験

## 【教科書・参考文献】

IPA 基本情報技術者試験 公開問題、サンプル問題、免除試験問題

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	基本情報科目B対策	川前 亘	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験（F E）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。

## 【講義概要】

基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 前期のアルゴリズムの復習
2	擬似言語 分岐と繰り返し
3	配列、再帰
4	二次元配列
5	探索
6	中間試験対策
7	中間試験解説
8	リスト①
9	リスト②
10	木構造、ハッシュ表
11	整列①
12	整列②
13	文字列処理
14	期末試験対策
15	期末試験解説

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有

## 【教科書・参考文献】

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎学力 I	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける
- ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

## 【講義概要】

- ①日本語の基礎知識
- ②数学の基礎計算
- ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題 (100マス計算など)
2	計算問題 (分数・小数・混合) SPI対策問題
3	計算問題 (分数・小数・混合四則演算・法則性) SPI対策問題
4	計算問題 (分数・小数・混合四則演算・法則性) 日本語の基礎知識 (漢字の読み書き)
5	日本語の基礎知識 (漢字の読み書き・四字熟語) SPI対策問題
6	日本語の基礎知識 (四字熟語) SPI対策問題 これまでの復習
7	中間試験
8	図形問題 (角度)
9	図形問題 (面積) 計算問題 (暗算)
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題
12	方程式を利用した文章問題 (つるかめ算) 日本語の基礎知識 (漢字の読み書き)
13	方程式を利用した文章問題 (整数・年齢算) SPI対策問題
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
  - ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

中学校, 高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。

## 【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 選択	講義	基礎学力Ⅱ	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

①就職試験（SPIなど）対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現在の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

## 【講義概要】

①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	日本語の基礎知識No. 1、数学の基礎計算P. 128～133、文章問題(仕事算)
2	日本語の基礎知識No. 2、数学の基礎計算P. 134～139、文章問題(割合算)
3	日本語の基礎知識No. 3、数学の基礎計算P. 140～145、文章問題(定価算)
4	日本語の基礎知識No. 4、数学の基礎計算P. 146～151、文章問題(速度算)
5	日本語の基礎知識No. 5、数学の基礎計算P. 152～157、文章問題(流水算)
6	日本語の基礎知識番外編、数学の基礎計算P. 158～165、文章問題(通過算)
7	中間考査
8	日本語の基礎知識No. 6、数学の基礎計算P. 166～171、式の展開
9	日本語の基礎知識No. 7、数学の基礎計算P. 172～177、因数分解(1)
10	日本語の基礎知識No. 8、数学の基礎計算P. 178～183、因数分解(2)
11	日本語の基礎知識No. 9、数学の基礎計算P. 184～189、平方根
12	日本語の基礎知識No. 10、数学の基礎計算P. 190～195、二次方程式
13	日本語の基礎知識No. 11、数学の基礎計算P. 196～201、n進法
14	日本語の基礎知識No. 12、数学の基礎計算P. 202～209、集合
15	期末考査

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

中学校、高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。

## 【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー I	山際 能理子	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

接遇を学び、正しいビジネスマナーを習得し、良好な人間関係の構築を図る

## 【講義概要】

クラス全員の参加型形式で、「知る・わかる・できる」のステップで、身につけていきます。

回	授業計画及び学習の内容
1	【オリエンテーション】 クラスのルール クラスメンバーと知りあう
2	【サービススタッフの資質①】 仕事は全てサービス業 心構えと基本行動
3	【サービススタッフの資質②】 好印象・好感度の形成
4	【サービスの専門知識】 サービスの機能や種類
5	【従業知識】 商業用語・経済用語 会社の構成
6	【一般知識①】 ことわざ・慣用表現 慶事の知識
7	【一般知識②】 物の名称・数え方 カタカナ用語 弔事の知識
8	【対人技能①】 コミュニケーション
9	【対人技能②】 接遇の基本 接遇用語 敬語
10	【対人技能③】 基本のマナー お辞儀・立ち居振る舞い・案内・席次・和室・食事
11	【実務技能①】 問題の捉え方 問題への対応
12	【実務技能②】 環境の整備 金品管理
13	【実務技能③】 社交業務
14	サービス接遇検定 模擬テストに挑戦
15	全体のまとめ

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%			50%	参考：授業姿勢を重要視	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

情報処理科、電子技術科、臨床工学科において、ビジネスマナーを担当。学校での講義だけでなく、企業での研修や講演も行っている。サービス接遇検定本の著者。

## 【教科書・参考文献】

ユーキャンのサービス接遇検定合格テキスト & 問題集

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2024		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	ビジネス検定対策		今村 朋子	有	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ビジネス能力検定3級合格を目指す。  
ビジネスの基本的な在り方を学び、実務力とコミュニケーション力をつける。

## 【講義概要】

ビジネスの基礎知識を学び、検定日までは毎回演習問題を実施し理解を深めます。  
ビジネス能力検定終了後は、さらなる自己啓発に取り組み、就職活動の準備へ繋げて行きます。

回	授業計画及び学習の内容		
1	キャリアと仕事へのアプローチ	働く意識	演習問題
2	仕事の基本となる8つの意識		演習問題
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本		演習問題
4	指示の受け方と報告・連絡・相談		演習問題
5	話し方と聞き方のポイント	敬語の種類と必要性	演習問題
6	来客応対と訪問の基本マナー	面談と名刺交換	演習問題
7	中間試験		
8	会社関係でのつき合い	冠婚葬祭の基本	演習問題
9	仕事への取り組み方	定型業務と否定形業務	演習問題
10	ビジネス文書の基本	社内文書・社外文書・社交文書	演習問題
11	電話応対	電話の受け方・かけ方	取りつぎの仕方
12	統計・データの読み方・まとめ方	表とグラフ	演習問題
13	情報収集とメディアの活用	インターネット・新聞	演習問題
14	会社を取り巻く環境と経済の基本	求められる人材とは	演習問題
15	期末試験		

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

### 【教員紹介】

都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

## 【教科書・参考文献】

各クラス共通 「ビジネス能力検定3級」テキスト及び問題集

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	情報関連法規 I	佐久間 悠太	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- ①現代の市民生活を送るうえで必要な法的知識を修得する。
- ②情報処理技術者として必要な法的知識を修得する。

## 【講義概要】

本講義では、身近な法律問題を取り上げて、法律学の基本的な知識を修得します。また、情報処理技術者として必要な法的知識を修得します。単なる知識として理解するだけでなく、具体的な事例をもとに、法的思考を養うことを目標とします。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション（法とはなにか、日本の法律の基本的構成）
2	日本国憲法の基本について理解する①
3	日本国憲法の基本について理解する②
4	日本国憲法の基本について理解する③
5	民法の基本について理解する①
6	民法の基本について理解する②
7	中間試験
8	民法の基本について理解する③
9	刑法の基本について理解する①
10	刑法の基本について理解する②
11	刑法の基本について理解する③
12	情報処理技術者として必要な法律について理解する①
13	情報処理技術者として必要な法律について理解する②
14	情報処理技術者として必要な法律について理解する③
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%	0%	0%	30%	0%	100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
  - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
  - ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

名古屋市立大学大学院修士課程修了。専攻は憲法学。大学院修了後、中日本高速道路株式会社に8年間勤務し、法務業務（契約書審査や訴訟対応等）や情報システム業務を主に担当。2021年に同社を退職し、現在は行政書士佐久間事務所の代表として、企業の法務業務をサポートしている。東北大学大学院博士課程に在籍中。

## 【教科書・参考文献】

電子開発学園メディア教育センター教材開発グループ『デジタル社会の法制度(第9版)』（電子開発学園出版局、2018年）

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	経営	古郡 聡	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

IT社会を支えている情報システムを中心とした戦略について、経営戦略と企業について学ぶ。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。

## 【講義概要】

毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す

回	授業計画及び学習の内容
1	企業活動の目的
2	企業会計
3	オペレーションズリサーチ(1)
4	オペレーションズリサーチ(2)
5	経営工学・品質管理
6	法務と標準化
7	中間試験
8	経営戦略マネジメント(1)
9	経営戦略マネジメント(2)
10	技術戦略マネジメント・ビジネスインダストリ
11	e-ビジネス
12	情報システム戦略
13	情報システム企画
14	開発技術
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	70%	10%		20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

教育機関にて学内のシステム開発業務に従事

## 【教科書・参考文献】

IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)



# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2024		1年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習 I		セキュリティ・ネットワーク科 担当教員	無	4単位 60時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。  
ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。  
学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。  
心身の健全な育成を目指しています。

## 【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1日目、2日目）
6	
7	
8	学園祭（1日目）
9	
10	
11	学園祭（2日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%

（補足）  
・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

## 【教科書・参考文献】